



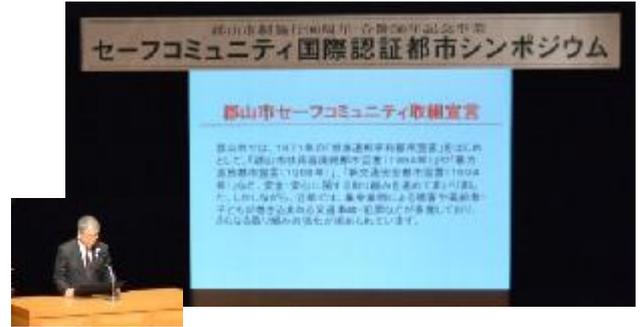
～さらに安全・安心なまちをめざして～

# こおりやまセーフコミュニティ通信 第1号

発行 平成27年9月 郡山市セーフコミュニティ推進協議会

## セーフコミュニティ活動の取組宣言

郡山市は、セーフコミュニティ認証取得を目指し、平成26年11月4日に郡山市民文化センターで開催したセーフコミュニティ国際認証都市シンポジウムにおいて、品川萬里市長がセーフコミュニティ活動の取組宣言を行いました。



※ WHO（世界保健機関）地域安全推進協働センターに書簡を提出し、取組自治体として登録されました。

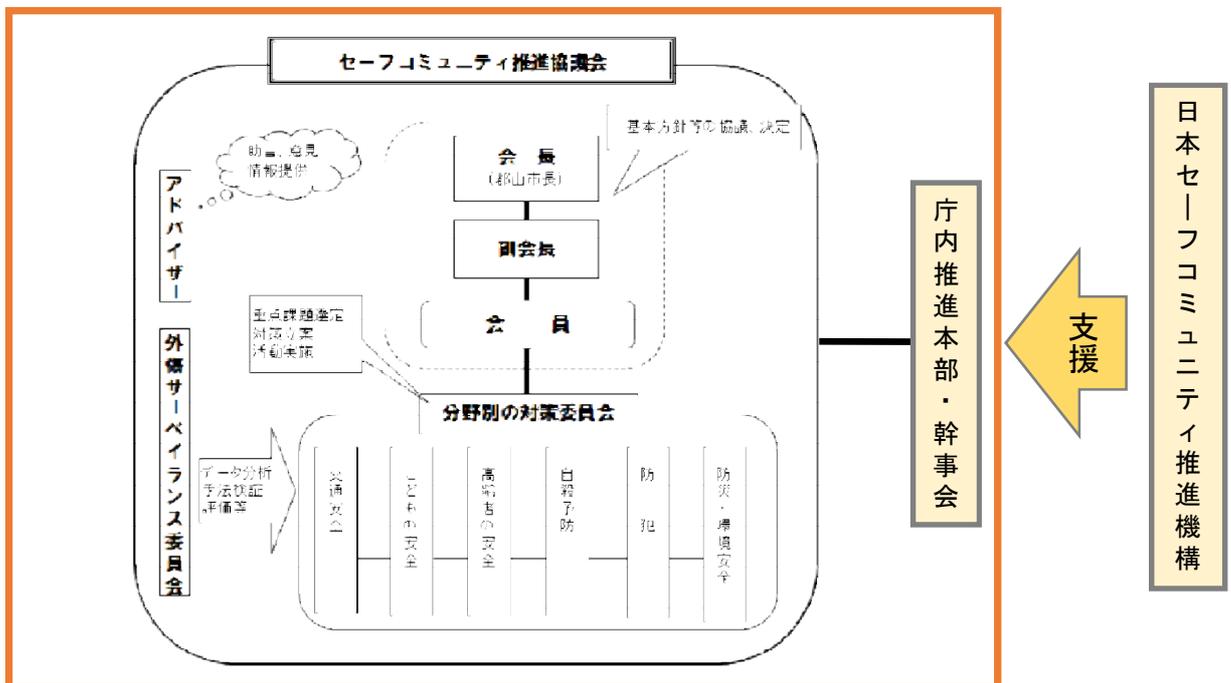
※セーフコミュニティとは、WHO（世界保健機関）地域安全推進協働センターの認証制度であり、「生活の安心と安全を脅かすけがや事故は、原因を究明することで予防することができる」という理念のもと、地域の実情をデータを用いて客観的に評価し、地域住民、地域の団体・組織、関係機関、行政などが力を合わせて「安心して生活できる安全なまちづくり」に取り組む活動を行っている地域のことをいいます。

## 郡山市セーフコミュニティ推進協議会を設立



42の団体、機関等の皆様の御賛同により、平成27年5月26日に「郡山市セーフコミュニティ推進協議会」を設立し、6つの分野別対策委員会を設置しました。

また、同日、地域医療の関係者、関係機関、行政の代表者等で構成する外傷サーベイランス委員会を設置し、外傷等のデータ収集・分析及び対策委員会の活動検証等を行うことになりました。



# 活動開始！ 合同対策委員会を開催

第1回合同対策委員会 平成27年7月8日（水）（場所: 中央公民館）

各対策委員合同による初めての対策委員会を7月8日（水）に中央公民館で開催しました。

セーフコミュニティ推進協議会長を務める品川萬里 郡山市長のあいさつの後、セーフコミュニティアドバイザーで、一般社団法人日本セーフコミュニティ推進機構 代表理事 白石陽子氏からセーフコミュニティの理念や活動方法等について説明をいただきました。

また、事務局(市民安全課)から推進協議会の体制、けがや事故等に関する地域診断の結果、今後の取り組みスケジュール等について説明を行いました。

委員の皆さんは、セーフコミュニティについての理解を深めようと真剣な表情で取り組んでいました。



あいさつをする品川市長



説明する白石氏



第2回合同対策委員会 平成27年8月4日（火）（場所: 市役所正庁）

6つの対策委員会がそれぞれ2つのグループに分かれ、安全・安心に関して日ごろから考えている課題や普段感じている地域の危険性等について発表し、全体で課題を共有するワークショップを開催しました。

アドバイザーの白石氏をファシリテーター(進行役)に、各委員からは積極的な意見が出され本市の現状等を把握することができました。



グループワークの説明



意見のまとめ



様々な課題を分類



課題をみんなで共有



グループごとに成果を発表

## セーフコミュニティの取り組みで期待される効果

- (1) けがや事故の減少により、市民の誰もが願う「安全・安心」が向上する。
- (2) 安全・安心への取り組みを通じて、地域住民、関係機関、各種団体と行政が協働することにより、情報や連帯意識を共有することができる。
- (3) 国際基準による安全・安心の取り組みを行う自治体として地域のイメージが向上する。

## セーフコミュニティに取り組んでいる自治体

世界では**347**都市、日本では**10**都市がセーフコミュニティの認証を取得しています。また、郡山市を含む**5**都市が認証の取得を目指しています。（平成**27**年8月現在）

### 【認証済自治体】 ※認証取得順

- |           |             |           |
|-----------|-------------|-----------|
| 1 京都府亀岡市  | 5 東京都豊島区    | 9 福岡県久留米市 |
| 2 青森県十和田市 | 6 長野県小諸市    | 10 埼玉県北本市 |
| 3 神奈川県厚木市 | 7 神奈川県横浜市栄区 |           |
| 4 長野県箕輪町  | 8 大阪府松原市    |           |

### 【認証取得に向けて取組中の自治体】（ ）内は進捗状況

- |            |                                       |
|------------|---------------------------------------|
| 1 滋賀県甲賀市   | (事前審査 平成 <b>26</b> 年 5月)              |
| 2 埼玉県秩父市   | (事前審査 平成 <b>26</b> 年 5月)              |
| 3 鹿児島県鹿児島市 | (事前審査 平成 <b>26</b> 年 <b>10</b> 月)     |
| 4 大阪府泉大津市  | (取組開始書簡提出 平成 <b>26</b> 年 6月)          |
| 5 福島県郡山市   | (取組開始書簡提出 平成 <b>26</b> 年 <b>12</b> 月) |



## 今後の対策委員会開催予定

- 第3回合同対策委員会 平成27年9月15日（火）午後1時30分～ 市役所正庁
- 第4回合同対策委員会 平成27年10月13日（火）午後1時30分～ 市役所正庁

当面の間、6分野の対策委員会を合同で開催し、分野を越えた課題等の共有を図りながら、具体的な対策を検討した後、対策委員会ごとに分かれて各分野の課題解決に向けて活動します。

# ～シリーズ～ データから郡山市をみてみよう

## (第1回) 不慮の事故等における死亡原因

人口動態統計H21～25年の5年間の累計から

多くの年代で自殺が死因のトップとなっており、交通事故による死者数の約3.7倍となっています。

また、79歳以下では、自殺、交通事故の順位が高くなっており、80歳以上では、窒息、転倒・転落、溺死・溺水などの順位が高くなっています。

### 郡山市の不慮の事故等による死者数 (H21～25年の合計)

年齢層	1位		2位		3位	
0-9歳	窒息	3人	交通事故	2人	転倒・転落	1人
10-19歳	自殺	7人	交通事故	3人	煙・火・火災	1人
20-29歳	自殺	56人	交通事故	7人	溺死・溺水	2人
30-39歳	自殺	49人	交通事故	8人	煙・火・火災	2人
40-49歳	自殺	61人	交通事故	10人	窒息	5人
50-59歳	自殺	80人	交通事故	12人	溺死・溺水	8人
60-69歳	自殺	60人	交通事故	16人	窒息	12人
70-79歳	自殺	34人	窒息	28人	交通事故	25人
80-89歳	窒息	59人	自殺	25人	転倒・転落	22人
90歳以上	窒息	31人	転倒・転落	13人	溺死・溺水	6人
全体	自殺	376人	窒息	145人	交通事故	103人

郡山市保健所「人口動態統計(死因帳票)」のデータを使用

発行 郡山市セーフコミュニティ推進協議会

963-8601

福島県郡山市朝日一丁目23番7号

事務局 郡山市市民部市民安全課セーフコミュニティ推進室

電話 024-924-2151 Fax 024-921-1340

e-mail [siminnanzen@city.koriyama.fukushima.jp](mailto:siminnanzen@city.koriyama.fukushima.jp)